ノムラ・ボンド・インカム・オープン

運用報告書(全体版)

第112期（決算日2026年６月22日）　第113期（決算日2026年９月24日）

作成対象期間（2026年３月24日～2026年９月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	1998年７月30日から2029年３月21日までです。
運用方針	公社債への投資にあたっては、ソブリン債および国際機関の発行した債券を中心とした優良クレジットの債券に分散投資することを基本とします。ポートフォリオのデュレーションは、原則として概ね１～３年程度で４年を超えない範囲内に維持することを基本とします。カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで収益の獲得を目指します。先物取引等も適宜活用します。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	年４回の毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

野村アセットマネジメント株式会社
東京都江東区豊洲二丁目２番１号
●サポートダイヤル
0120-753104〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時
●ホームページ
https://www.nomura-am.co.jp/

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	FTSE世界国債インデックス(1-3年)為替100%ヘッジ	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
104期(2024年6月21日)	7,386	10	△1.1	107.42	△0.3	94.8	－	3,185
105期(2024年9月24日)	7,510	10	1.8	108.65	1.1	83.6	－	3,219
106期(2024年12月23日)	7,283	10	△2.9	107.73	△0.8	73.7	－	3,089
107期(2025年3月21日)	7,334	10	0.8	107.86	0.1	72.7	－	3,075
108期(2025年6月23日)	7,406	10	1.1	108.07	0.2	86.4	－	3,080
109期(2025年9月22日)	7,435	10	0.5	108.30	0.2	90.3	－	3,040
110期(2025年12月22日)	7,406	10	△0.3	108.35	0.0	98.0	－	2,974
111期(2026年3月23日)	7,305	10	△1.2	107.72	△0.6	97.1	－	2,881
112期(2026年6月22日)	7,299	10	0.1	107.82	0.1	97.3	－	2,840
113期(2026年9月24日)	7,188	10	△1.4	107.16	△0.6	95.1	－	2,652

＊基準価額の騰落率は分配金込み。
＊債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

＊FTSE世界国債インデックス（１－３年）は、FTSE Fixed Income LLCが開発した世界先進主要国短期国債（１－３年）市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数の一つです。ファンドは、当インデックスの対円での為替100%ヘッジベースをベンチマークとします。
＊当ベンチマークは、設定時を100として指数化しています。
＊FTSE世界国債インデックス（１－３年）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行なっておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
(出所) FTSE Fixed Income LLC

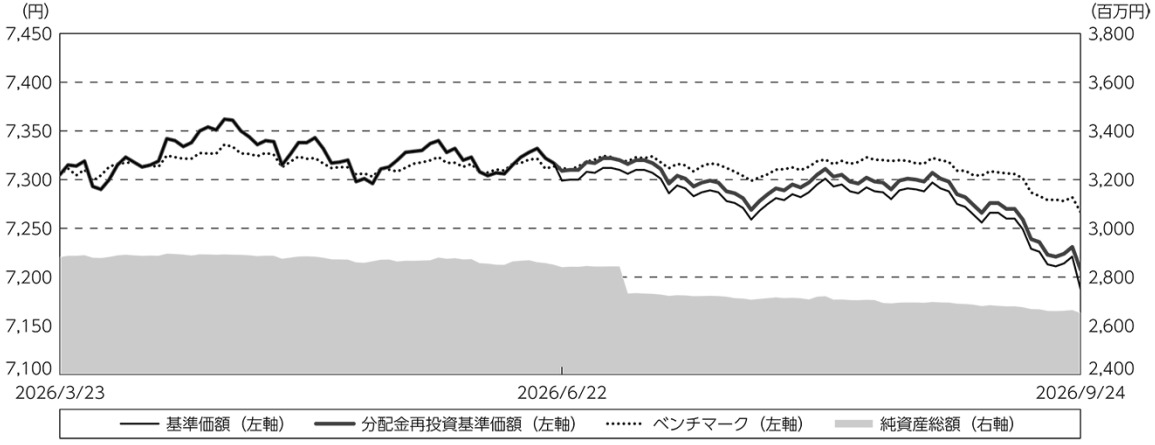
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		ベンチマーク		債券組入比率	債券先物比率
			騰落率	FTSE世界国債インデックス(1-3年)為替100%ヘッジ	騰落率		
	(期首)	円	%		%	%	%
	2026年3月23日	7,305	－	107.72	－	97.1	－
	3月末	7,300	△0.1	107.84	0.1	96.9	－
第112期	4月末	7,315	0.1	107.83	0.1	97.9	－
	5月末	7,337	0.4	107.94	0.2	96.6	－
	(期末)						
	2026年6月22日	7,309	0.1	107.82	0.1	97.3	－
	(期首)						
	2026年6月22日	7,299	－	107.82	－	97.3	－
	6月末	7,312	0.2	107.99	0.2	96.7	－
第113期	7月末	7,285	△0.2	107.83	0.0	96.4	－
	8月末	7,275	△0.3	107.78	△0.0	96.9	－
	(期末)						
	2026年9月24日	7,198	△1.4	107.16	△0.6	95.1	－

＊期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
＊債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第112期首： 7,305円
第113期末： 7,188円（既払分配金（税込み）：20円）
騰　落　率：△ 1.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2026年３月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（１－３年）為替100%ヘッジです。ベンチマークは、作成期首（2026年３月23日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

（上昇）保有する債券からの利息収入。
（下落）保有する債券の価格の下落。
（下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

債券市場＜債券利回りは米国・ドイツ・日本で上昇＞

米国では、中東情勢の悪化に伴う原油価格の上昇によるインフレ懸念や底堅い景気動向を背景に、FRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを実施したことなどから、債券利回りが上昇し、価格は下落しました。

ユーロ圏では、中東情勢の悪化に伴う原油高を通じたインフレ懸念により、ECB（欧州中央銀行）が利上げを実施したことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

日本では、高市政権による積極的な財政支出への懸念や日銀が追加利上げを実施したことなどから、債券利回りが上昇し、価格は下落しました。

為替市場＜円に対して米ドル・ユーロは下落＞

高市政権の積極的な財政支出による財政赤字拡大への懸念が円売り圧力となった一方で、日本と米国の通貨当局が円買いの協調介入を実施したことなどから、円に対して米ドルやユーロは下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・組入債券について

債券組入比率：当作成期を通じて、概ね高めを維持しました。

債券の種類：組入債券の信用力に留意し、国債を中心に高格付け債券に投資しました。

・ファンド全体のデュレーション（※１）

＜ファンドのデュレーション＞

ファンド全体のデュレーションは、当作成期首の水準を概ね維持しました。当作成期末において、ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化としました。

（※１）デュレーションは、債券の利回り変化に対する価格変化の感応度を表し、数値が大きいほど利回り低下時の価格上昇率が大きくなり、利回り上昇時には価格下落率が大きくなります。

・為替のエクスポージャー（※２）

当作成期を通じて、対円での全体の為替エクスポージャーは抑えめとしました。

（※２）為替エクスポージャーとは、外国債券を中心とした外貨建資産のうち、為替ヘッジを行なっていない部分の純資産額に対する比率のことです。比率が高いほど円安時には為替差益が、円高時には為替差損が発生しやすくなります。当ファンドの為替エクスポージャーは最大限で20%までです（純資産の100%を外貨建てで保有した場合）。

○当ファンドのベンチマークとの差異

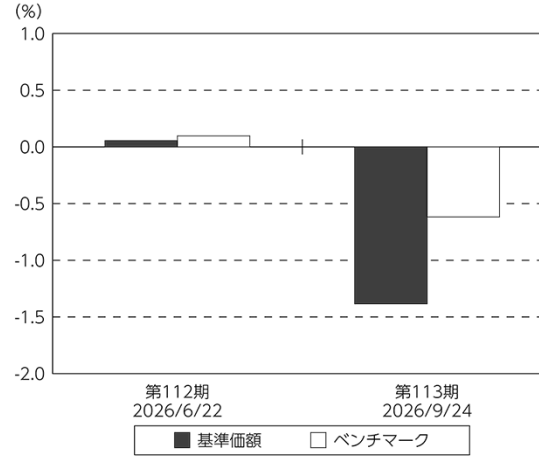
基準価額（分配金再投資）の騰落率は－1.3%となり、ベンチマークの－0.5%を0.8ポイント下回りました。

（主なマイナス要因）

通貨配分において、米ドルをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）、ユーロをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）としていたところ、米ドルがユーロに対して上昇したこと。

ファンド全体のデュレーションをベンチマークに対して長期化としたところ、債券利回りが上昇したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（1－3年）為替100%ヘッジです。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきました。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税込み）

項　　目	第112期 2026年３月24日～ 2026年６月22日	第113期 2026年６月23日～ 2026年９月24日
当期分配金	10	10
（対基準価額比率）	0.137%	0.139%
当期の収益	10	10
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	2,550	2,578

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

当ファンドは、国内外の金融市場について精緻な投資環境リサーチ及び分析を行ない、好収益が期待できる債券や為替市場への投資を行ないます。金利リスク・国別投資配分リスクに加えて、為替変動リスクもコントロールすることで、より分散されたポートフォリオ構築に努めて参ります。

米国では、労働市場の持ち直しなどを背景にFRBの将来的な追加利上げに対する市場観測が高まり、債券利回りは上昇する可能性が高いと予想します。欧州では、ドイツの債券利回りは、ユーロ圏域内の景気回復ペースの鈍化などから、低下する公算が大きいと想定します。日本では、日銀の追加利上げに対する警戒が債券利回りの上昇要因として働く一方で、将来的な景気への下押し圧力への懸念が低下要因として働き、債券利回りの方向感は乏しい展開を予想します。ファンド全体のデュレーションはベンチマークに対して長期化とする方針です。また、通貨配分については、ヘッジ比率の調整により米ドルをアンダーウェイト、欧州通貨をオーバーウェイトとします。

○１万口当たりの費用明細

（2026年３月24日～2026年９月24日）

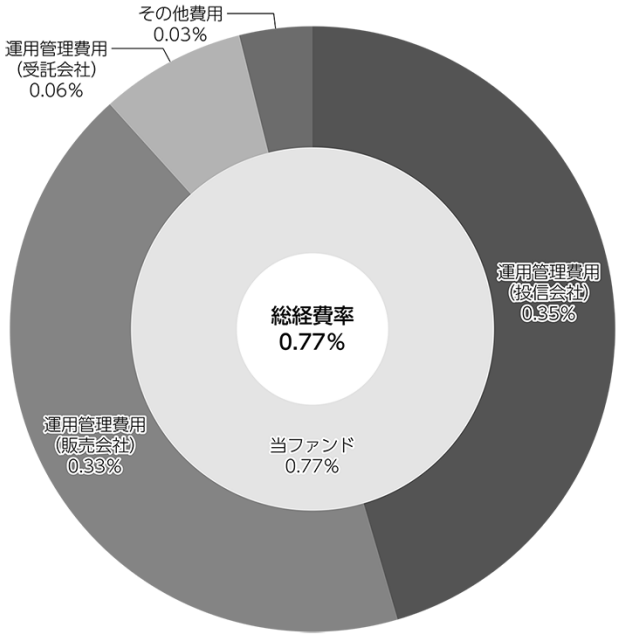
項目	第112期～第113期 金額	第112期～第113期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	27	0.374	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(13)	(0.178)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（販売会社）	(12)	(0.167)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（受託会社）	(2)	(0.028)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	1	0.016	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	28	0.390	
作成期間の平均基準価額は、7,304円です。			

＊作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
＊各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
＊各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.77％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月24日～2026年９月24日）

公社債

			第112期～第113期	
			買　付　額	売　付　額
国内	国債証券		千円 170,039	千円 19,546
外国	アメリカ	国債証券	千米ドル 3,631	千米ドル 11,234
	カナダ	国債証券	千カナダドル 1,667	千カナダドル 1,023
	イギリス	国債証券	千英ポンド 1,990	千英ポンド 1,592
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローナ 1,755	千スウェーデンクローナ 3,492
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 1,620	千ノルウェークローネ 1,626
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	5,600	3,851
	フランス	国債証券	1,994	1,295
	スペイン	国債証券	2,290	898
	韓国	国債証券	千ウォン 197,889	千ウォン －
	中国	国債証券	千人民元 536	千人民元 －
	オーストラリア	国債証券	千豪ドル 239	千豪ドル 486
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 1,084	千ニュージーランドドル 808
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 2,847	千メキシコペソ 3,194

＊金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
＊単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月24日～2026年９月24日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月24日現在）

国内公社債

（A）国内（邦貨建）公社債　種類別開示

区分	第113期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	170,000	168,864	6.4	－	－	－	6.4
合計	170,000	168,864	6.4	－	－	－	6.4

＊組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
＊金額の単位未満は切り捨て。
＊評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
＊残存期間が１年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

（B）国内（邦貨建）公社債　銘柄別開示

銘柄	第113期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
国庫債券　利付（２年）第484回	1.4	170,000	168,864	2028/５/１
合計		170,000	168,864	

＊額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区　　分	第113期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	1,200	1,173	185,440	7.0	－	1.7	2.3	2.9
	千カナダドル	千カナダドル						
カナダ	750	722	80,888	3.0	－	－	3.0	－
	千英ポンド	千英ポンド						
イギリス	1,630	1,583	330,896	12.5	－	－	10.9	1.6
	千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ						
スウェーデン	1,700	1,646	26,180	1.0	－	－	－	1.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	3,980	3,782	679,548	25.6	－	16.5	5.1	4.0
フランス	2,200	2,178	391,432	14.8	－	－	5.3	9.4
スペイン	2,200	2,177	391,196	14.7	－	－	4.0	10.8
	千シンガポールドル	千シンガポールドル						
シンガポール	150	152	18,848	0.7	－	－	－	0.7
	千リンギ	千リンギ						
マレーシア	700	702	27,130	1.0	－	－	－	1.0
	千ウォン	千ウォン						
韓国	200,000	197,472	22,718	0.9	－	－	－	0.9
	千人民元	千人民元						
中国	4,800	5,177	121,944	4.6	－	4.6	－	－
	千豪ドル	千豪ドル						
オーストラリア	250	239	26,594	1.0	－	－	－	1.0
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル						
ニュージーランド	300	282	25,343	1.0	－	－	－	1.0
	千メキシコペソ	千メキシコペソ						
メキシコ	2,800	2,845	25,612	1.0	－	－	－	1.0
合　　計	－	－	2,353,775	88.7	－	22.8	30.7	35.3

＊邦貨換算金額は、第113期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
＊金額の単位未満は切り捨て。
＊評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			第113期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B	3.875	500	494	78,190	2027/12/31
		US TREASURY N/B	4.0	300	292	46,208	2029/7/31
		US TREASURY N/B	4.375	100	97	15,382	2031/7/31
		US TREASURY N/B	4.625	300	288	45,658	2036/8/15
小計						185,440	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.75	750	722	80,888	2031/3/1
小計						80,888	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	国債証券	UNITED KINGDOM GILT	4.375	200	199	41,581	2028/3/7
		UNITED KINGDOM GILT	4.125	1,430	1,384	289,314	2031/3/7
小計						330,896	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	0.75	1,700	1,646	26,180	2028/5/12
小計						26,180	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESOBLIGATION	2.1	780	757	136,017	2029/4/12
		BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	2.3	2,600	2,433	437,183	2033/2/15
		BUNDESSCHATZANWEISUNGEN	2.5	600	591	106,347	2028/6/14
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2.5	1,400	1,393	250,291	2027/9/24
		FRANCE (GOVT OF)	2.75	800	785	141,140	2029/2/25
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.5	1,600	1,594	286,429	2027/5/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	2.35	600	583	104,766	2029/3/31
小計						1,462,176	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT	2.875	150	152	18,848	2028/8/1
小計						18,848	
マレーシア				千リンギ	千リンギ		
	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT	3.519	700	702	27,130	2028/4/20
小計						27,130	
韓国				千ウォン	千ウォン		
	国債証券	KOREA TREASURY BOND	3.0	200,000	197,472	22,718	2028/3/10
小計						22,718	
中国				千人民元	千人民元		
	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	2.67	4,800	5,177	121,944	2033/5/25
小計						121,944	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT	2.25	250	239	26,594	2028/5/21
小計						26,594	
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.25	300	282	25,343	2028/5/15
小計						25,343	

銘柄			第113期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ			%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	8.5	2,800	2,845	25,612	2028/3/2
小計						25,612	
合計						2,353,775	

＊邦貨換算金額は、第113期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
＊額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2026年９月24日現在）

項目	第113期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	2,522,640	92.4
コール・ローン等、その他	207,591	7.6
投資信託財産総額	2,730,231	100.0

＊金額の単位未満は切り捨て。
＊第113期末における外貨建純資産（2,398,543千円）の投資信託財産総額（2,730,231千円）に対する比率は87.9％です。
＊外貨建資産は、第113期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。１米ドル＝158.01円、１カナダドル＝111.96円、１英ポンド＝208.95円、１スウェーデンクローナ＝15.90円、１ノルウェークローネ＝16.62円、１デンマーククローネ＝24.03円、１ユーロ＝179.66円、１ズロチ＝41.0518円、１シンガポールドル＝123.37円、１リンギ＝38.6479円、１ウォン＝0.115047円、１人民元＝23.5529円、１豪ドル＝111.08円、１ニュージーランドドル＝89.65円、１メキシコペソ＝9.0006円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第112期末 2026年６月22日現在	第113期末 2026年９月24日現在
	円	円
(A) 資産	**5,488,839,655**	**5,096,454,853**
コール・ローン等	68,828,466	133,853,892
公社債(評価額)	2,763,965,042	2,522,640,214
未収入金	2,628,583,080	2,413,207,140
未収利息	14,692,218	14,093,671
前払費用	12,770,849	12,221,010
その他未収収益	－	438,926
(B) 負債	**2,648,514,324**	**2,444,196,273**
未払金	2,631,242,212	2,435,328,071
未払収益分配金	3,891,191	3,689,823
未払解約金	8,070,136	－
未払信託報酬	5,287,137	5,155,322
その他未払費用	23,648	23,057
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	**2,840,325,331**	**2,652,258,580**
元本	3,891,191,724	3,689,823,508
次期繰越損益金	△1,050,866,393	△1,037,564,928
(D) 受益権総口数	**3,891,191,724口**	**3,689,823,508口**
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	**7,299円**	**7,188円**

(注) 第112期首元本額は3,944,231,875円、第112～113期中追加設定元本額は101,159,173円、第112～113期中一部解約元本額は355,567,540円、１口当たり純資産額は、第112期0.7299円、第113期0.7188円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額424,183円。

○損益の状況

項目	第112期 2026年３月24日～ 2026年６月22日	第113期 2026年６月23日～ 2026年９月24日
	円	円
(A) 配当等収益	**22,967,774**	**19,145,829**
受取利息	22,583,443	18,481,078
その他収益金	384,331	664,751
(B) 有価証券売買損益	**△ 15,857,499**	**△ 51,256,693**
売買益	58,212,196	113,376,844
売買損	△ 74,069,695	△ 164,633,537
(C) 信託報酬等	**△ 5,500,522**	**△ 5,398,761**
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	**1,609,753**	**△ 37,509,625**
(E) 前期繰越損益金	**△ 515,055,527**	**△ 485,874,351**
(F) 追加信託差損益金	**△ 533,529,428**	**△ 510,491,129**
（配当等相当額）	（ 696,900,115）	（ 663,480,211）
（売買損益相当額）	（△1,230,429,543）	（△1,173,971,340）
(G) 計（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	**△1,046,975,202**	**△1,033,875,105**
(H) 収益分配金	**△ 3,891,191**	**△ 3,689,823**
次期繰越損益金（Ｇ＋Ｈ）	**△1,050,866,393**	**△1,037,564,928**
追加信託差損益金	△ 533,529,428	△ 510,491,129
（配当等相当額）	（ 696,900,115）	（ 663,480,211）
（売買損益相当額）	（△1,230,429,543）	（△1,173,971,340）
分配準備積立金	295,726,164	288,048,353
繰越損益金	△ 813,063,129	△ 815,122,152

＊損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は各期末の評価換えによるものを含みます。
＊損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
＊損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2026年３月24日～2026年９月24日）は以下の通りです。

項目	第112期 2026年３月24日～ 2026年６月22日	第113期 2026年６月23日～ 2026年９月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	17,467,252円	13,747,068円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	696,900,115円	663,480,211円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	282,150,103円	277,991,108円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	996,517,470円	955,218,387円
f. 分配対象収益（１万口当たり）	2,560円	2,588円
g. 分配金	3,891,191円	3,689,823円
h. 分配金（１万口当たり）	10円	10円

○分配金のお知らせ

	第112期	第113期
１万口当たり分配金（税込み）	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年４月１日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。　＜変更適用日：2026年４月１日＞